

JPAB

CLIPPEDIMAGE= JP401031267A

PUB-NO: JP401031267A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01031267 A

TITLE: MEDICAL CHARGE PAYMENT SYSTEM BY CARD

PUBN-DATE: February 1, 1989

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

HORIBE, KAZUMASA

INT-CL\_(IPC): G06F015/21

ABSTRACT:

PURPOSE: To simplify a payment clearing and accounting business, to cancel the generation of a mistake and to prevent the forgetting of a reserved date by using a medical charge payment card on which information can be recorded as a means for paying a medical treatment charge.

CONSTITUTION: A card reader/writer 2 for reading the recording information of the medical treatment charge payment card, for instance, a magnetic card C and rewriting the recording information as necessary and a keyboard 4 for manually inputting to the card reader/writer 2 as necessary are provided. The medical treatment charge payment card C used as a prepaid card has a magnetic recording layer 6 on a back face, for instance and a patient name column 8, a hospital name column 10 and a reservation filling column 12 disposed on a surface. Thereby, the patient has no labor for paying a health care charge every time nor forgets a reserved date.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

## ⑪ 公開特許公報 (A)

昭64-31267

⑤Int.Cl.\*

G 06 F 15/21

識別記号

360

厅内整理番号

7230-5B

⑥公開 昭和64年(1989)2月1日

審査請求 未請求 発明の数 2 (全4頁)

⑦発明の名称 カードによる医療料金決済システム

⑧特願 昭62-187027

⑨出願 昭62(1987)7月27日

⑩発明者 堀部 和政 埼玉県南埼玉郡菖蒲町菖蒲180番地 有限会社ビタ内

⑪出願人 有限会社 ビタ 埼玉県南埼玉郡菖蒲町菖蒲180番地

⑫代理人 弁理士 石原 詔二

## 明細書

1. 発明の名称 カードによる医療料金決済システム

## 2. 特許請求の範囲

(1) 所定情報が記録される記録層と次回予約日時を記入するための予約記入欄と患者名を記入するための患者名欄と使用可能な医院名又は病院名とを少なくとも有する医療料金決済カードと、該記録層に記録された情報を読み取るとともに必要に応じて書き替えるカードリーダーライターとからなることを特徴とするカードによる医療料金決済システム。

(2) 该所定情報が医院または病院コード、患者コード、発行日付及びカード番号でありかつプリペイドカードとして用いることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のカードによる医療料金決済システム。

(3) 该所定情報が医院または病院コード、患者コード、発行日付、有効期限及びカード番号でありかつ料金後納カードとして用いることを特徴と

する特許請求の範囲第1項記載のカードによる医療料金決済システム。

(4) 该医療料金決済カードが磁気カード、ICカード、又は光カード等の情報記録カードであることを特徴とする特許請求の範囲第1項記載のカードによる医療料金決済システム。

(5) 所定情報が記録される記録層と次回予約日時を記入するための予約記入欄と患者名を記入するための患者名欄と使用可能な医院名又は病院名とを少なくとも有する医療料金決済カードと、該記録層に記録された情報を読み取るためのカードリーダーと、該カードリーダーに接続されかつ該医療料金決済カードの使用金額の設定登録及び使用金額の残高更新を行う料金決済装置とからなることを特徴とするカードによる医療料金決済システム。

(6) 该所定情報が医院または病院コード、患者コード、発行日付及びカード番号でありかつプリペイドカードとして用いることを特徴とする特許請求の範囲第5項記載のカードによる医療料金決

済システム。

(7) 该所定情報が医院または病院コード、患者コード、発行日付、有効期限及びカード番号でありかつ料金後納カードとして用いることを特徴とする特許請求の範囲第5項記載のカードによる医療料金決済システム。

(8) 该医療料金決済カードが磁気カード、ICカード、又は光カード等の情報記録カードであることを特徴とする特許請求の範囲第5項記載のカードによる医療料金決済システム。

### 3. 発明の詳細な説明

#### (産業上の利用分野)

本発明は、医院（歯科医院及び各種診療所を含む）又は病院における治療料金の決済を医療料金決済カードによって行うようにしたカードによる医療料金決済システムに関する。

#### (従来の技術)

従来、歯科医院、医院、各種診療所、病院等の医療機関における医療費又は治療費の決済は、治療の都度、医院等の窓口で支払うことが行われて

な医院名又は病院名とを少なくとも有する医療料金決済カードと、該記録層に記録された情報を読み取るとともに必要に応じて書き替えるカードリーダーライターとからなることを特徴とするカードによる医療料金決済システムに存する。

本願第二発明の要旨は、所定情報が記録される記録層と次回予約日時を記入するための予約記入欄と患者名を記入するための患者名欄と使用可能な医院名又は病院名とを少なくとも有する医療料金決済カードと、該記録層に記録された情報を読み取るためのカードリーダーと、該カードリーダーに接続されかつ該医療料金決済カードの使用金額の設定登録及び使用金額の残高更新を行う料金決済装置とからなることを特徴とするカードによる医療料金決済システムに存する。

なお、上記いずれの発明においても、該所定情報を医院または病院コード、患者コード、発行日付及びカード番号としてプリペイドカードとして用いることができる。また、カードの有効期限を付加して料金後納カードとして用いることもでき

おり、小綱等が必要な場合が多くミスの発生も少なくなく不便が多かった。一方、一般に診察券と称される患者名を記入した券に基づいてカルテの取り出し、薬の配付、治療費等の算出等の医療事務が行われている。この診察券は患者を特定するだけの役割でそれ以上の役割を有するものではなかった。

#### (発明が解決しようとする問題点)

本発明は、上記の点に鑑みて発明されたもので、治療費又は医療費を支払うための手段として情報記録可能な医療料金決済カードを利用することによって支払精算会計業務の簡略化及びミス発生の解消を図るとともに予約記入欄を設けることによって予約日時の失念を防止するようにしたカードによる医療料金決済システムを提供することを目的とする。

#### (問題を解決するための手段)

本願第一発明の要旨は、所定情報が記録される記録層と次回予約日時を記入するための予約記入欄と患者名を記入するための患者名欄と使用可能

る。

該医療料金決済カードとしては、磁気カード、ICカード、又は光カード等の情報記録カードを用いることができる。

#### (実施例)

以下に本発明の一実施例を添付図面に基づいて説明する。

第1図は本願第一発明の構成の一例の概略説明図である。同図において、2は医療料金決済カード、例えば磁気カードCの記録情報を読み取るとともに必要に応じて記録情報を書き替えるカードリーダーライター、例えば磁気カードリーダーライターである。4は該カードリーダーライター2に必要に応じて手入力を行うためのキーボードである。

第2図及び第3図はプリペイドカードとして用いる医療料金決済カードCの一例を示すもので、裏面に磁気記録層6を有し、表面には患者名欄8、医院名又は病院名欄10及び予約記入欄12が設けられている。これらの裏記例は一例であり、

例えば医院又は病院の電話番号等必要情報を記載してもよいことはいうまでもない。

なお、該医療用プリペイドカードCの残存料金の目安を表示する手段としては、公知の手段を採用すればよいが、例えば料金マーキング用数字列11を印字しておき、所定のマーキング13を数字列の数字上に行うことによって目安とすることができる。

この医療用プリペイドカードCが、例えば1万円と引換えに発行される場合について説明すれば、第一回の診療を受けた場合、該医療用プリペイドカードCを磁気カードリーダーライター2に挿入し第一回の診療費（例えば、2千円）をキーボード4から手入力して使用許容金額の磁気情報を8千円に書き替え更新しまたマーキング数字列11の所定の数字上にマーキング13を行い、同時に次回の予約がある場合には予約日時を記入して患者に返還する。第二回の診療の際には8千円から第二回の診療費を差し引いて使用残高を書き替え更新しつつ数字のマーキング13を行うとともに

ロック図である。14は料金決済装置を構成するコンピュータで、医療料金決済カード、例えば磁気カードCの記録情報を読み取るカードリーダー、例えば磁気カードリーダー16、ディスプレイ18、キーボード20を有している。

しかし、発行された医療料金決済カードCには、医院または病院コード、患者コード、発行日付及びカード番号を磁気記録層に磁気記録しておくとともに本実施例ではコンピュータ14にはカード番号に応じて患者コード、発行日付を設定登録するとともにカードの使用許容金額を設定登録しておく。例えば、1万円の医療用プリペイドカードCであれば1万円を使用許容金額として設定する。これと同時に目視可能な情報としては患者名及び医院名又は病院名が記入又は印字される。この医療用プリペイドカードPは1万円と引換えに発行される。第一回の診療が終了すれば、第一回の診療費（例えば、2千円）をキーボード20からコンピュータ14に入力して精算して使用許容金額を8千円に更新しつつ数字列11の所定の

に予約がある場合には予約日時を記入して患者に返還する。このようにすれば、患者はその都度診療費を払う手間はなくなり、予約日時を忘れることもなくなる。また、医院又は病院側では小銭の出入りが少なくなるので精算ミスが皆無となるという大きな利点が生ずる。

また、不正カード（発行していないカード、即ちカード番号の不一致等、または残額のないカード等）の提示があった場合にはカードリーダーライター2による読み取りが行われないようにしておき、正規なカードの提示を求めるか、又は現金処理することとなる。

なお、本発明の医療料金決済カードCを利用すれば、従来の診察券として通用できるものであり、従来の診察券の発行は省略できることはいうまでもない。

上記した医療料金決済システムの他にも同様なシステムを実施することが可能であり、以下に説明する。

第4図は本願第二発明の構成を概略的に示すブ

ロック図である。14は料金決済装置を構成するコンピュータで、医療料金決済カード、例えば磁気カードCの記録情報を読み取るカードリーダー、例えば磁気カードリーダー16、ディスプレイ18、キーボード20を有している。

数字にマーキング13を行い、同時に次回の予約がある場合には予約日時を記入して患者に返還する。第二回の診療の際には8千円から第二回の診療費を差し引いて使用残高を更新登録しつつ数字列11のマーキング13を行うとともに予約がある場合には予約日時を記入して患者に返還する。このようにすれば、患者はその都度診療費を払う手間はなくなり、予約日時を忘れることがなくなる。また、医院又は病院側では診療費の支払事務と同時に会計事務を行うことができることは勿論であるが、小銭の出入りが少なくなるので精算ミスが皆無となるという大きな利点が生ずる。

また、不正カード（発行していないカード、即ちカード番号の不一致等、または残額のないカード等）の提示があった場合にはコンピュータ14にはエラー表示又は残額0の表示がなされるから正規のカードCの提示を求めるか、又は現金処理することとなる。

最初の設定金額を全て使用してしまった場合には、古いカードに新たに使用金額をコンピュータ

14に設定しなおすようにしてもよいし、または新たに金額を設定登録した新たなカードを発行するようにしてもよい。

なお、本発明の医療用プリペイドカードPを利用すれば、従来の診察券として使用できるものであり、従来の診察券の発行は省略できることはいうまでもない。

上記実施例では、いずれも医療料金決済カードCとしては、プリペイドカードとした場合を示したが、料金後納カード（ポストペイカード）とすることもできる。この料金後納カードの場合には、残存料金を目安となる数字列11及びマーキング13は不要であるが、カードの有効期限を表示する欄22を設定しておき、所定の期間経過後に診察費用を精算することになる。

#### (発明の効果)

以上のように、本発明によれば、治療費又は医療費を支払うための手段として情報記録可能な医療料金決済カードを利用することによって支払精算会計業務の簡略化及びミスの発生の解消を図る

とともに予約記入欄を設けることによって予約日時の失念を防止し、かつ従来の診察券としても使用できるという大きな効果を奏する。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本願第一発明の構成を示す概略説明図、第2図は医療用プリペイドカードの一例の裏面図、第3図は第2図の裏面図、第4図は本願第二発明の構成を概略的に示すブロック図及び第5図は料金後納カードの一例を示す裏面図である。

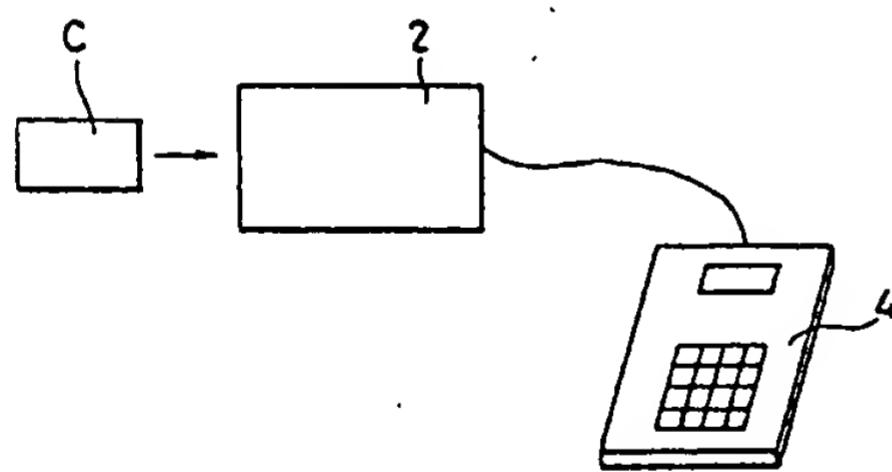
2…カードリーダーライター、4…キーボード、6…磁気記録層、8…患者名欄、10…医院名欄、12…予約記入欄、14…コンピュータ、16…カードリーダー、18…ディスプレイ、C…医療料金決済カード

特許出願人 有限会社 ピタ

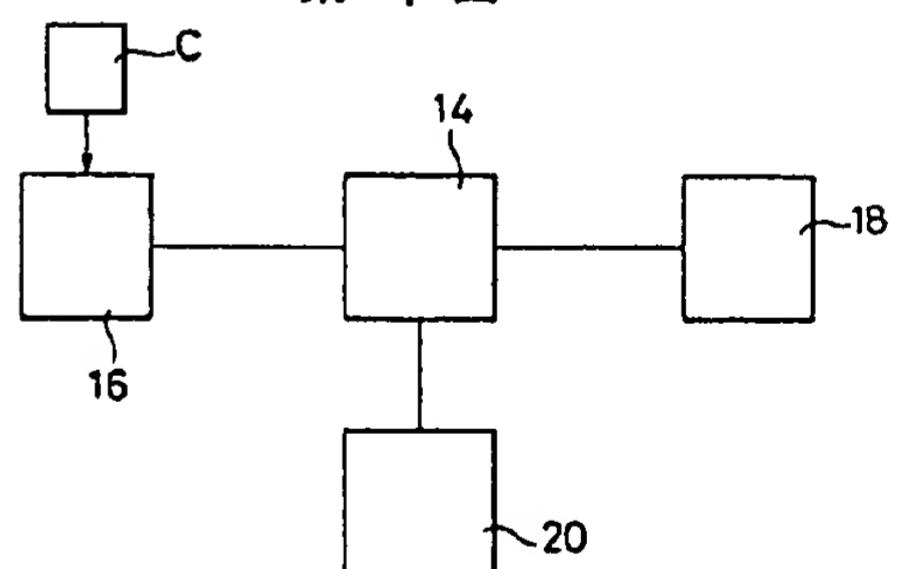
代理人弁理士 石原詔子



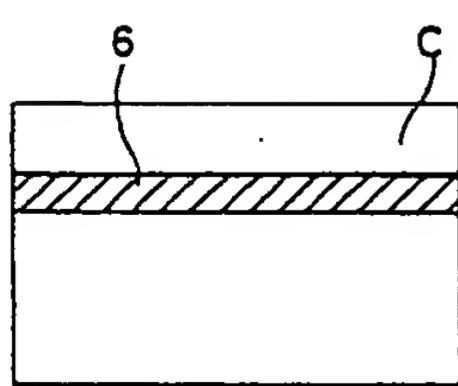
第1図



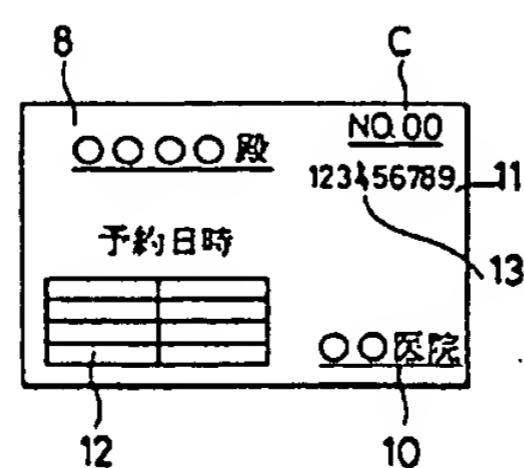
第4図



第2図



第3図



第5図

